



校長 藤山 昌生

伝えよう  
平和

11月24日(水)～25日(木)、6年生は広島・姫路へ修学旅行に行ってきました。6年生は、これまでの学習で、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さについて学んできました。その学びを折り鶴集会で発表し、宝塚小学校の代表として全校生で平和への願いを込めて折った千羽鶴をヒロシマに届けることができました。(昨年度届けられなかった千羽鶴も一緒に届けています。) 広島平和記念資料館、本川小学校平和資料館、袋町小学校平和資料館の見学、原爆ドーム、平和記念公園内のモニュメントなど、現地ヒロシマでしか学べないことを、子どもたち一人ひとりが、肌で感じることができました。

広島平和記念資料館には、数多くの展示物があり、何度見ても心をえぐられるような気持ちになります。入館してすぐの場所に、「地球平和監視時計(Peace Watch)」が展示されています。現在の時刻を表すアナログ時計の下には、1945年8月6日の広島への原爆投下からの日数と、最後の核実験からの日数がデジタルで刻まれています。2021年1月の時点で、世界の核兵器保有数は13,080(シプリ年鑑, スtockホルム国際平和研究所)もあります。ヒロシマ・ナガサキの上空で爆発した1つの核爆弾が、多くの人々を犠牲にし、後遺症で苦しめているにもかかわらず、核兵器が無くならない、核実験が行われている現実があります。

今年度は、コロナ禍で実施することができませんでしたが、市内の多くの学校で子どもたちに平和の大切さを伝え続けてくださっている岡邊好子さん(宝塚市原爆被害者の会会長)は、「勉強しなさい、今の平和な世の中で勉強できるありがたさをしっかりと感じなさい。」と、いつも言ってくださいます。これからも平和について学び続け、私たち一人ひとりが、平和の大切さを伝えて続ける役目も果たしていきたいと思ひます。



～2021年度 平和宣言(抜粋) 宝塚小学校6年生～

- 互いの意見や思いを尊重し、みんなが公平になるように話し合いを進めます。
- けんかをしてしまっても、相手の気持ちを考えてごめんねと言い、話し合いで解決していきたいので厳しい言葉を言ったり暴力をふるったりすることをなくしていきたいです。
- 世界で起こっている戦争から目をそむけず、戦争や歴史をしっかりと学んでいきます。
- 友だちや家族を大切に、人のことを思いやる気持ちを常に持ち続けます。
- わたしたちは、両親、祖父母がつかないできた戦争のない平和な世界をこれからも次の世代へ伝えていくことを誓います。
- 被爆者の人たちの思いを伝えていくことを誓います。